

(書式 2-3-3)

使途不明金で揉める恐れを防ぐ遺産分割協議書

遺産分割協議書

(被相続人の表示)

氏名	〇〇〇〇
生年月日	昭和〇〇年〇〇月〇〇日
本籍	〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号
最後の住所地	〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号
死亡年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日

上記被相続人の相続につき、相続人である長男〇〇〇〇及び長女〇〇〇〇は、協議の上、以下のとおり遺産を分割し相続することを合意した。

(使途不明金の取り扱いの確認)

第1条 長男〇〇〇〇及び長女〇〇〇〇は、次条記載の銀行口座より、被相続人の生前である平成〇〇年〇〇月〇〇日から平成〇〇年〇〇月〇〇日の間に引き出されている合計〇〇〇万円に関し、かかる金員は被相続人が自身のために引き出し、自身のために費消したものであるため、被相続人の遺産ではないことを確認する。

(金融資産)

第2条 長男〇〇〇〇及び長女〇〇〇〇は、下記の預金につき、各2分の1ずつ取得する。

記

〇〇銀行 〇〇支店 普通預金 口座番号〇〇〇〇

(本協議書に記載なき遺産の相続)

第3条 本協議書に記載なき遺産及び後日判明した遺産は、長男〇〇〇〇及び長女
〇〇〇〇で別途分割協議を行い、これを相続する。

以上のおり、遺産分割協議が真正に成立したことを証するため、本協議書を2
通作成して署名押印し、各自1通を保有する。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

(住所)

(氏名)

印

(住所)

(氏名)

印

*遺産分割の詳細は、<https://ac-souzoku.jp/inheritance/partition-estate/>

をご覧ください。弁護士法人朝日中央綜合法律事務所